

地理B 休業期間中の学習について

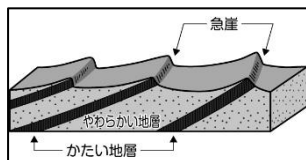
地理B担当者 有本 和修

① 基本用語の確認

2年で学んだ内容を復習しましょう。教科書、資料集、授業プリントを活用して、「フィヨルド」「ラトソル」「フィードロット」「BRICS」など、まずは基本用語を確認しましょう。



- 例題. ①「アジアNIEs」にふくまれる四つの国・地域をあげなさい。
②カルスト地形の地域で見られる地形を以下から一つ選びなさい。
あ. メサ い. ドリーネ う. モレーン え. エスチュアリ
③扇状地の中で、伝統的に畑や果樹園として利用されてきたのは以下のどの地形か。
あ. 扇央 い. 扇端 う. 扇頂 え. 自然堤防
④次の図は何という地形の模式図か？



② より深い理解を！

地形の成因、気候の成り立ちや地域ごとの農業、工業といった産業成立の背景など、「なぜそうなるのか？」ということまで理解できるようにしましょう。

- 例. 1の例題③について、なぜこの場所が畑や果樹園として利用されてきたのか？
⇒礫や砂が多く堆積しており、水がしみ込みやすく河川が伏流し水田には不向きなため

学習の際に、教科書欄外の「チェック」について考えてみましょう。「チェック」の内容を自分なりに説明できるようになると、内容の理解が深まります。

- チェックの例. ①3種類のプレート境界の特徴を説明しよう (p. 31)
②熱帯雨林とタイガの特徴の違いを説明しよう (p. 73) など

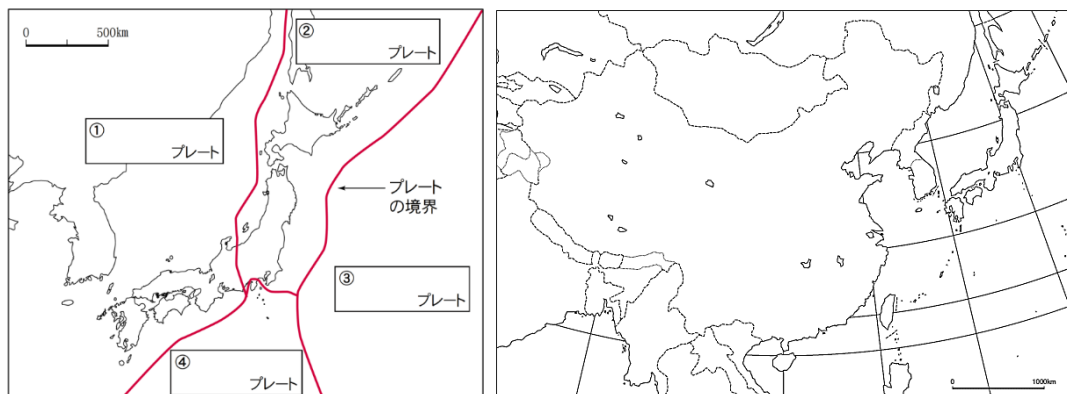


③ 地図の確認、略地図の作成

これまでに授業で出てきた地名を確認しましょう。地図帳を有効活用して下さい。また、自分で白地図を作成し、授業で登場した地名を書き込む作業は、自分の中のメンタルマップを確認し、正確にする有効な方法です。詳細に地図を描く必要はありません（完璧に描こうとすると、時間もかかり心理的なハードルが高くなります）。ぜひ試してみましょう。

例. 左下の地図中の①～④のプレート名を書き込もう。

右下の地図に黄河、長江を書き込みペキン、シャンハイ、ホンコンを○印で記入しよう。



④ 過去問にチャレンジ

過去のセンター試験にチャレンジしてみましょう。まずは2019年の問題を解いてみましょう。ただし、産業や人口などデータを読み取る問題では、古い問題は今とかなり数値が異なりますので注意して下さい。(例. センター試験がスタートした1990年のころは中国が今のように経済発展する前であり、工業生産額などがかなり低い数値になっています)

例題. 水深200mより浅い海域について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。(2018年追試、一部改)

この浅海域のうち、大陸や島嶼に隣接する大陸棚の分布する海域は、①全海域の約30%を占めている。そこは栄養塩やプランクトンが多いため、②すぐれた漁場になっている海域が多い。また、③海底から地下資源が採掘されている場所がある。大陸棚はかつての陸地と考えられており、④最終氷期には海面が低下して海峡が地続きとなった場所が出現し、人類の居住域の拡大をもたらした。

⑤ 先取り学習 (余裕があれば)

教科書の続きを読んでみましょう。特にp.227以降の「地誌」では、これまでに学んだこと(「系統地理」)の復習がたくさん出てきます。「地誌」は地域ごとに学ぶ地理(例. 東アジア)、「系統地理」はテーマごとに学ぶ地理(例. 世界の工業)だと考えて下さい。興味のある地域を中心に、先取りして学習してみましょう。



※例題解答

①-① 韓国、シンガポール、台湾、ホンコン ② い ③ あ ④ ケスタ

③-① : ユーラシア、② : 北アメリカ、③ : 太平洋、④ : フィリピン海

④-例題 : ① ⇒大陸棚の面積が全海域の 30%は盛りすぎ (実際は約 20%)

